

第 108 回 番組審議会 議事録

開催日時：2020 年 3 月に郵送にて開催

1) 出席委員（総数 7 名：出席数 6 名、欠席数 1 名）

小島香代子／中野洋介／加藤陽介／大畑卓也／塚本明子／近藤慎一

2) 審議番組の内容

番組タイトル 『由衣の MUSIC GRAVITY』

パーソナリティ 松田由衣

放送日時 2020 年 1 月 1 日（火）11:00～11:55

番組概要

愛知県を中心に活動するアーティストが日替わりで登場する
30 分のミュージックプログラム！
4 組のアーティストがそれぞれの個性で LIVE 感たっぷりに
お届けします。

3) 審議の内容

【小島委員】

- ・最初は何のインフォメーションも持たず聞いたのですが、彼女のオープニングでの早口で句読点のないしゃべりやぶっきらぼうな口の利き方がびっくりしましたが、内容はとても面白くて良かったです。
- ・あらためて彼女の紹介を読んで、なるほどと思いました。ピアニストであり、楽曲制作もしている方なんですね。しゃべりもピアニストで、きっとリズムを大事にしている人なんだろうと理解しました。
- ・私は基本的にアーティストは個性豊かにしゃべれば良いと思っているので、縛り無くやってもらえれば良いです。
- ・今回はゲストがアーティストで、つっこんだ内容だったので、人柄や作品もリスナーに届いたと思います。
- ・制作現場にいる彼女だからこそ伝えられる魅力をこれからも発信してくれることを期待します。

【中野委員】

- ・ラジオのリスナーは音楽に興味があったり、好きな人が多いと思うので、ピアニストや楽曲制作者としてのリアルな感覚や専門的な情報を、さらりと聞くことができる点で価値のある番組だと思いました。
- ・面白く聴かせてもらいました。番組の進行にあたって特に問題は感じませんでした。

【加藤委員】

- ・由衣さんは結構な早口で、ときどき聞き取れないところがあります。何かをしながらラジオを聞き流していると、耳に入らないのでは。
- ・冒頭、むちゃくちゃな事態という話がありましたが、コロナウイルスのことなのか何なのか、このタイミングでは断定できずに、もやもやした気持ちで聞いていました（リアルタイムで聞いていたら旬の話題でわかったのかもしれませんが）。
- ・子どもが近くにいる？ 自宅がスタジオ？ 音声だけでは状況がつかめませんでした。
- ・ゲストのキョウヘイさんを知らないのに、由衣さんがキョウヘイさんの解説を時々入れるものの、2人の関係やキョウヘイさんの経歴があまり繋がらず、何の話題でトークが展開しているのかわかりづらいものがありました。
- ・お互いをよく知っている者同士の会話といった感じで、トークが2人の世界に浸りきってしまっていたように感じます。2人にしか共有できない会話もあり、話のテンポについていけませんでした。
- ・これまで番審で聞いたトーク番組では、パーソナリティーが会話を通じてゲストの魅力を引き出そうとしたり、リスナーにゲストのことをよく知ってもらおうとしたりするテクニックを感じられましたが、今回、そういう面に物足りなさを感じました。

【大畑委員】

○オープニング

亀山さんと松田さんのアットホームな感じが良いと思いました。松田さんの三河弁？が適度に訛っており、ローカルな雰囲気心地よく感じました。BGMが流れている時には、松田さんの話が聞き取り難いと感じましたが、BGMが無くなってからは聞き取ることが出来ました。もう少しハキハキ話していただけると聞き取りやすくなると感じました。また、話すテンポが速くなることもあるので、もう少しゆっくり話して貰った方が聞きやすいと思いました。

キョウヘイさんのアポロロシアター オーディションの話はとても熱量があつて良いと思いました。適宜、松田さんがキョウヘイさんのプロフィールを補足するなど、MCとして上手く回されていると感じました。

○フリートーク

・クラブのトークは夜の番組にあっているなと感じました。

・最後まで聞いていて、番組テーマ「音楽の重力」について説明あると良いと思いました。音楽のゲストを呼んで、音楽に関するトークをして盛り上がる番組でしょうか？音楽の力を通じてリスナーに何かを伝えられるともっと良いと思いました。第99回の番組審議会ではEmiliowlさんの番組を聞きました。今回のプログラムは同じような枠でしょうか？同じ枠であれば、それぞれ個性があつてとても良いと思います。

【塚本委員】

・パーソナリティの自己紹介が早口で抑揚もあつてわかりにくく感じた。

亀山氏も同様にわかり辛かったように思う。

・ゲストは落ち着いたトークで、よく自己説明されており、人柄を想像させる話しぶりに感じた。

・パーソナリティの、ゲストとのトークは活舌良く、とてもフランクで、仲間的な関係性を伺わせ、良かった。アーティストとしての活動の可能性を語り合う姿勢を感じさせる空気感が良かった。

・2018年から続いている番組という事から、アーティスト独特の感性で番組作りがされ、ファンからも支持されている、という事だと思う。

・亀山氏もタイミングよくコメントし、トークにいいリズムを作っていたと思う。

【近藤委員】

・初めて聴いた率直な意見ですが、導入からよくわからない番組だなと思いました。パーソナリティの個性はさておきラジオを聴いている多数の人に向かって、語り掛ける、問いかける、共感を求めるといったようなトークに乏しく、ゲスト2人で話をしているのを聞いているだけの様な感じになりました。

パーソナリティや話の内容に興味がなければ、この番組を聞かないと思います。

・よく言えば TOKYO FM の番組「 SUNTORY SATURDAY WAITING BAR AVANTI 」を思い出しました。日常会話を番組の中で盗み聞きをするという構成のようなリスナーへの対話のない、ゲストとの会話をなんとなく聞いているという感じがしました。

以上